



2021年3月期 決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年5月14日

上場取引所 東

上場会社名 日医工株式会社
 コード番号 4541 URL <https://www.nichiiko.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田村 友一
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理本部長 (氏名) 石田 修二 TEL 076-432-2121

定時株主総会開催予定日 2021年6月18日 配当支払開始予定日 2021年6月21日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月18日

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	188,218	△1.0	977	△87.8	107	△96.3	1,068	△85.6	△4,273	—	△4,179	—
2020年3月期	190,076	14.1	8,020	△39.8	2,873	△65.1	7,396	△16.9	4,917	△28.4	5,133	△25.2

	当期包括利益 合計額		基本的1株当たり 当期利益	希薄化後 1株当たり当期利益	親会社所有者 帰属持分 当期利益率	資産合計 税引前利益率	売上収益 営業利益率
	百万円	%	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	△2,579	—	△65.28	△65.28	△3.7	0.3	0.1
2020年3月期	2,169	△78.6	80.42	80.14	4.4	2.3	1.5

(参考) 持分法による投資損益 2021年3月期 432百万円 2020年3月期 △19百万円

(注) コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因による損益(非経常項目)を除いて算出しており、売上収益からも非経常的な要因は除外しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	363,572	112,435	111,167	30.6	1,733.58
2020年3月期	336,819	117,170	115,826	34.4	1,811.50

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	5,006	△29,334	10,867	29,142
2020年3月期	18,450	△18,228	1,002	42,944

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	親会社所有者 帰属持分配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2020年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00	1,926	37.3	1.6
2022年3月期(予想)	—	15.00	—	10.00	25.00	1,605	—	1.4
	—	10.00	—	10.00	20.00		—	

(注) 2021年3月期における1株当たり期末配当金については、15円から10円に変更しております。詳細については本日(2021年5月14日)公表いたしました「剰余金の配当に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	195,000	3.6	2,500	155.8	—	—	—	—	—

(注) 新型コロナウイルス感染症拡大による影響を見直すことが困難であるため、上記の業績予想には新型コロナウイルス感染症拡大による影響を織り込んでおりません。今後の状況により業績予想の修正が必要となった場合には速やかにお知らせします。

詳細は、5ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）日医工岐阜工場株式会社、除外 1社（社名）－

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	65,162,652株	2020年3月期	65,162,652株
② 期末自己株式数	2021年3月期	1,036,650株	2020年3月期	1,222,817株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	64,023,932株	2020年3月期	63,837,135株

(注)期末自己株式数には、従業員持株会専用信託が所有する株式が含まれております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	178,643	△2.8	△9,106	－	△8,599	－	△13,269	－
2020年3月期	183,945	19.6	△889	－	△2,537	－	1,406	△59.9

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	△207.25	－
2020年3月期	22.04	21.96

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	
2021年3月期	309,480	80,359	80,359	25.9	25.9	1,249.40	
2020年3月期	304,336	95,198	95,198	31.2	31.2	1,484.58	

(参考) 自己資本 2021年3月期 80,118百万円 2020年3月期 94,923百万円

(注)個別業績における財務数値については、日本基準に基づいております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2021年5月14日(金)に決算補足説明資料を当社ホームページに掲載します。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結財政状態計算書	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結持分変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(報告企業)	14
(作成の基礎)	14
(セグメント情報等)	15
(1株当たり情報)	19
(重要な後発事象)	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

(当期の経営成績)

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響から経済活動の停滞が続き、感染再拡大への懸念から景気の先行きは不透明な状況となっております。

後発医薬品業界におきましては、後発医薬品使用割合は政府目標である80%に近接するまで高まっておりますが、一方で、今後は毎年の薬価改定が実施される予定となっていることから一層の収益力強化が求められる状況となっております。

このような状況下当社グループでは、富山第一工場製造品で試験方法や製造方法が適切でなかった製品についての自主回収を実施し、2021年3月に富山県より「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」に基づく行政処分を受けております。当社は今般の行政処分を重く受け止め、患者様とご家族及び医療関係者の皆様をはじめとした当社の全てのステークホルダーの皆様に対して心よりお詫び申し上げるとともに、再発防止に向けて外部弁護士による提言に従って業務改善策を着実に実行し、2020年7月に策定した新品質方針「安心と信頼への約束」に則って、社員全員が引き続き品質を最重視する企業文化の醸成に努めております。

A. セグメント別の業績

(単位:百万円)	日医工グループ			Sagent グループ		
	2020年3月期	2021年3月期	増減	2020年3月期	2021年3月期	増減
売上収益	155,288	152,481	▲2,807	35,163	36,289	+1,126
コア営業利益	6,980	2,995	▲3,985	1,040	▲2,017	▲3,057

(注) 1. セグメント区分は、「日医工グループ」「Sagent グループ」の2つのセグメント区分としており、「Sagent グループ」は、Sagent Pharmaceuticals, Inc. 及びその連結子会社で構成され、「日医工グループ」は、「Sagent グループ」を除いた会社にて構成されております。

2. 当社グループでは、経常的な収益性を示す指標として「コア営業利益」を採用しており、セグメント利益にも「コア営業利益」を採用しております。「コア営業利益」は営業利益から非経常的な要因による損益を除いて算出しており、売上収益からも非経常的な要因は除外しております。

①日医工グループ

当連結会計年度においては下記の取り組みを行っております。

2020年7月には、グループ生産体制の最適化及び品質管理体制の強化を主目的として、武田テバファーマ株式会社(以下、「武田テバ」)が保有するジェネリック医薬品及び高山工場に係る事業を譲り受けることを目的として新たに設立された日医工岐阜工場株式会社(以下、「日医工岐阜工場」)の全株式を当社が取得することで、テバ・ファーマスーティカル・インダストリーズ社、武田薬品工業株式会社及び武田テバとの間で合意し、2021年2月に、日医工岐阜工場の全株式を取得し、当社の子会社といたしました。

2020年11月には、ベパシズマブバイオシミラーの国内における製造販売承認を申請し、2020年12月には、オーソライズドジェネリック『ブソフェキ®配合錠「SANIK」』、『ロレアス®配合錠「SANIK」』を発売するなど、引き続き製品ラインアップの充実を図っております。

当連結会計年度の日医工グループにおける業績は、新製品や子会社化した日医工岐阜工場の売上への寄与があったものの、薬価改定による薬価引き下げや、新型コロナウイルス感染症拡大による受診抑制や営業活動の制限による影響などから、売上収益は1,524億81百万円(前年同期比28億7百万円減)、セグメント利益は29億95百万円(前年同期比39億85百万円減)と減収減益となりました。

②Sagent グループ

当連結会計年度においては下記の取り組みを行っております。

コスト競争力・安定供給能力の強化を目指した、Sagent・ローリー工場、Omega・モントリオール工場、SterRxにおける内製化・自社製造能力の拡充に向けた体制強化を図っています。

また、バイオシミラー、オーファンドラッグの米国市場への早期上市、Sagent開発品の日本・東南アジア市場への導出に向けた取り組みを進めております。

当連結会計年度のSagentグループの業績は、新型コロナウイルス感染症による受診抑制や手術延期による影響がございましたが、新型コロナウイルス関連製品やコンパウンド製剤の売上伸長や、カナダ市場での売上増により、売上収益は362億89百万円(前年同期比11億26百万円増)と増収となりました。しかしながら、Sagent・ローリー工場を進める内製化に伴う製造移管費用の先行発生などにより、セグメント損失は20億17百万円(前年同期比30億57百万円減)となりました。

B. グループ全体の業績

(単位：百万円)	2020年3月期	2021年3月期	増減
売上収益	190,076	188,218	▲1,857
コア営業利益	8,020	977	▲7,043
営業利益	2,873	107	▲2,766
税引前利益	7,396	1,068	▲6,328
親会社の所有者に帰属する当期利益	5,133	▲4,179	▲9,313
希薄化後1株当たり当期利益	80円14銭	▲65円28銭	▲145円42銭

※ 当社グループでは、経常的な収益性を示す指標として「コア営業利益」を採用しております。「コア営業利益」は営業利益から非経常的な要因による損益を除いて算出しております。

売上収益は、Sagent グループは増収も、日医工グループの減収があり、前年同期比18億57百万円の減収となりました。

コア営業利益は、日医工グループ、Sagent グループとも減益で、前年同期比70億43百万円の減益となりました。

営業利益は、株式取得に伴う割安購入益の計上(122億75百万円)がありました。減損損失の計上(日医工グループ 15億15百万円、Sagent グループ 44億35百万円)、インフリキシマブバイオシミラーの原薬在庫評価損の計上(35億85百万円)、自主回収に係る費用の計上(21億58百万円)があったことなどにより、前年同期比27億66百万円の減益となりました。

税引前利益は、前年同期にAprogen Inc. 株式売却による売却益の計上があったことなどにより、前年同期比63億28百万円の減益となりました。

親会社の所有者に帰属する当期利益は、第3四半期末時点で計上していた繰延税金資産を取り崩した(41億83百万円)ことなどにより、前年同期比93億13百万円の減益となりました。

(参考 個別経営成績)

当事業年度の売上高は、薬価改定による薬価引き下げや、新型コロナウイルス感染症拡大による受診抑制や営業活動の制限による影響などから、前年同期比53億2百万円減収となりました。

利益面では、薬価改定影響による粗利率の低下や、インフリキシマブバイオシミラーの原薬在庫評価損の計上(35億85百万円)、自主回収に係る費用の計上(21億58百万円)があったことなどにより、営業損失は91億6百万円(前年同期比82億17百万円減)、経常損失は85億99百万円(前年同期比60億61百万円減)となりました。

当期純損失は、繰延税金資産の取り崩し(30億3百万円)を行ったことなどにより、132億69百万円(前年同期比146億75百万円減)となりました。

(新型コロナウイルス感染症の影響について)

新型コロナウイルス感染症に関して、当社グループでは、在宅勤務、各部署の執務場所分散等を実施し、全社員が感染拡大防止に努めております。これまでのところ全生産拠点においてほぼ通常通りの稼働を続けており、売上面においても、新型コロナウイルス関連製品が伸長するなどのプラス面がある反面、患者様の受診抑制、手術延期、営業活動制限による売上への影響や、Sagent においては一部製品について資材の不足により製造委託先からの製品供給が滞るなどの影響もあり、今後の新型コロナウイルス感染症拡大の状況次第では、業績へ大きな影響を及ぼす事象の発生可能性も否定できないと認識しております。

別途新型コロナウイルス感染症に関連した治療薬候補として挙げられている当社の『注射用フサン®』の臨床試験が国内外で行われており、さらには国内においてCOVID-19診療の手引きにデキサメタゾン(当社製品名『デカドロン錠』)が治療薬として記載されております。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ267億53百万円増加し、3,635億72百万円となりました。これは主に以下の要因によるものであります。

	増減額 (百万円)	主な要因
現金及び現金同等物	△13,801	日医工岐阜工場の株式取得など
棚卸資産	+17,982	日医工岐阜工場の連結子会社化など
有形固定資産	+9,741	日医工岐阜工場の連結子会社化など

当連結会計年度末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ314億88百万円増加し、2,511億36百万円となりました。これは主に以下の要因によるものであります。

	増減額 (百万円)	主な要因
借入金	+15,341	開発投資などへの資金需要増大
繰延税金負債	+10,190	割安購入益に係る繰延税金負債の計上等

当連結会計年度末の資本につきましては、前連結会計年度末に比べ47億34百万円減少し、1,124億35百万円となりました。これは主に以下の要因によるものであります。

	増減額 (百万円)	主な要因
利益剰余金	△6,543	当期純損失の計上、配当金の支払など

(3) 当期のキャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ138億1百万円減少し、291億42百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況の詳細は以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、当連結会計年度において50億6百万円の収入超過となりました。これは主に以下の要因によるものであります。

内容	金額 (百万円)
減価償却費及び償却費の計上	+13,217
割安購入益の計上	△12,275
仕入債務及びその他の債務の増加	+3,783

投資活動によるキャッシュ・フローは、当連結会計年度において293億34百万円の支出超過となりました。これは主に以下の要因によるものであります。

内容	金額 (百万円)
有形固定資産の取得による支出	△6,360
無形資産の取得による支出	△12,767
子会社の取得による支出	△7,039

財務活動によるキャッシュ・フローは、当連結会計年度において108億67百万円の収入超過となりました。これは主に以下の要因によるものであります。

内容	金額 (百万円)
借入金の純増	+15,115
リース負債の返済による支出	△2,093
配当金の支払	△1,918

(4) 今後の見通し

今後につきましては、2021年3月に受けた行政処分を重く受け止め、再発防止に向けて外部弁護士による提言に従って業務改善策を着実に実行し、2020年7月に策定した新品質方針「安心と信頼への約束」に則って、社員全員が引き続き品質を最重視する企業文化の醸成に努めてまいります。

2022年3月期の連結業績予想は売上収益1,950億円、コア営業利益25億円としております。セグメント別の売上収益は、日医工グループが1,530億円、Sagent グループが420億円とし、コア営業利益は日医工グループが20億円、Sagent グループが5億円としております。上記業績予想については、コロナウイルスの感染拡大による影響を織り込んでおりません。今後のコロナウイルス感染拡大の状況により、業績予想の修正が必要となった場合は速やかにお知らせいたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性を目的として、国際会計基準（IFRS）を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	42,944	29,142
売上債権及びその他の債権	39,923	42,882
棚卸資産	78,127	96,110
未収法人所得税	-	55
その他の金融資産	425	3,715
その他の流動資産	3,287	3,195
流動資産合計	164,708	175,102
非流動資産		
有形固定資産	59,201	68,943
のれん	44,322	45,661
無形資産	56,607	56,957
持分法で会計処理されている投資	2,066	2,202
その他の金融資産	7,925	6,968
繰延税金資産	10	12
その他の非流動資産	1,975	7,724
非流動資産合計	172,110	188,469
資産合計	336,819	363,572

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
仕入債務及びその他の債務	61,750	65,359
借入金	46,747	63,113
その他の金融負債	1,722	1,615
未払法人所得税	214	937
返金負債	3,270	2,712
契約負債	116	127
その他の流動負債	8,868	9,707
流動負債合計	122,690	143,574
非流動負債		
借入金	87,045	86,021
その他の金融負債	2,257	4,182
退職給付に係る負債	945	960
引当金	81	83
返金負債	95	98
契約負債	748	631
繰延税金負債	4,521	14,711
その他の非流動負債	1,262	874
非流動負債合計	96,958	107,562
負債合計	219,648	251,136
資本		
資本金	23,360	23,360
資本剰余金	21,896	21,896
その他の資本性金融商品	9,918	9,918
自己株式	△2,562	△2,267
利益剰余金	57,365	50,822
その他の資本の構成要素	5,848	7,437
親会社の所有者に帰属する持分合計	115,826	111,167
非支配持分	1,343	1,268
資本合計	117,170	112,435
負債及び資本合計	336,819	363,572

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上収益	190,076	188,218
売上原価	152,756	166,973
売上総利益	37,319	21,245
販売費及び一般管理費	25,614	27,029
研究開発費	4,261	4,335
その他の営業収益	303	12,962
その他の営業費用	4,873	2,734
営業利益	2,873	107
金融収益	111	1,330
金融費用	1,809	801
その他の収益	6,426	-
その他の費用	185	-
持分法による投資損益	△19	432
税引前利益	7,396	1,068
法人所得税費用	2,479	5,342
当期利益 (△は損失)	4,917	△4,273
当期利益の帰属		
親会社の所有者	5,133	△4,179
非支配持分	△216	△93
当期利益 (△は損失)	4,917	△4,273
1株当たり当期利益		
基本的1株当たり当期利益 (円)	80.42	△65.28
希薄化後1株当たり当期利益 (円)	80.14	△65.28

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期利益	4,917	△4,273
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	△1,010	△565
確定給付制度の再測定	△419	53
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△11	△0
純損益に振り替えられることのない項目合計	△1,440	△512
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△1,254	2,206
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△53	-
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△1,307	2,206
その他の包括利益(税引後)	△2,748	1,693
当期包括利益	2,169	△2,579
当期包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,664	△2,504
非支配持分	504	△75
当期包括利益	2,169	△2,579

(3) 連結持分変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					その他の資本の構成要素	
	資本金	資本剰余金	その他の資本 性金融商品	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
						在外営業活 動体の換算 差額	その他の包 括利益を通 じて公正価 値で測定す る金融資産
2019年4月1日時点の残高	23,360	21,896	9,918	△2,893	55,016	6,367	2,371
会計方針の変更による累積的影響額					△49		
会計方針の変更を反映した当期首残高	23,360	21,896	9,918	△2,893	54,967	6,367	2,371
当期利益(△は損失)					5,133		
その他の包括利益						△2,028	△1,022
当期包括利益合計	-	-	-	-	5,133	△2,028	△1,022
新株の発行に係る直接発行費用		△5					
その他の資本性金融商品の所有者に 対する分配					△464		
自己株式の取得				△0			
自己株式の処分		△63		331			
自己株式処分差損の振替		9			△9		
新株予約権の失効					14		
配当					△1,913		
株式に基づく報酬取引							
非支配持分との資本取引及びその他 利益剰余金から資本剰余金への振替		58			△58		
その他の資本の構成要素からの振替					△303		△114
所有者との取引額合計	-	-	-	331	△2,735	-	△114
2020年3月31日時点の残高	23,360	21,896	9,918	△2,562	57,365	4,339	1,235

	親会社の所有者に帰属する持分					非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			合計			
	確定給付制 度の再測定	その他	合計				
2019年4月1日時点の残高	-	285	9,025	116,323	0	116,323	
会計方針の変更による累積的影響額			-	△49		△49	
会計方針の変更を反映した当期首残高	-	285	9,025	116,274	0	116,274	
当期利益(△は損失)			-	5,133	△216	4,917	
その他の包括利益	△417		△3,469	△3,469	720	△2,748	
当期包括利益合計	△417	-	△3,469	1,664	504	2,169	
新株の発行に係る直接発行費用			-	△5		△5	
その他の資本性金融商品の所有者に 対する分配			-	△464		△464	
自己株式の取得			-	△0		△0	
自己株式の処分		△38	△38	230		230	
自己株式処分差損の振替			-	-		-	
新株予約権の失効		△14	△14	-		-	
配当			-	△1,913		△1,913	
株式に基づく報酬取引		41	41	41		41	
非支配持分との資本取引及びその他 利益剰余金から資本剰余金への振替			-	-	838	838	
その他の資本の構成要素からの振替	417		303	-		-	
所有者との取引額合計	417	△11	292	△2,112	838	△1,273	
2020年3月31日時点の残高	-	274	5,848	115,826	1,343	117,170	

(注)配当の金額には従業員持株会専用信託への配当金額を含めておりません。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	その他の資本 性金融商品	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
						在外営業活 動体の換算 差額	その他の包 括利益を通 じて公正価 値で測定す る金融資産
2020年4月1日時点の残高	23,360	21,896	9,918	△2,562	57,365	4,339	1,235
当期利益(△は損失)					△4,179		
その他の包括利益						2,187	△565
当期包括利益合計	-	-	-	-	△4,179	2,187	△565
その他の資本性金融商品の所有者に 対する分配					△440		
自己株式の取得				△0			
自己株式の処分		△85		289			
自己株式処分差損の振替		86			△86		
新株予約権の行使		△1		6			
新株予約権の失効					29		
配当					△1,919		
その他の資本の構成要素からの振替					53		
所有者との取引額合計	-	-	-	295	△2,363	-	-
2021年3月31日時点の残高	23,360	21,896	9,918	△2,267	50,822	6,526	669

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	資本合計
	確定給付制 度の再測定	その他	合計			
2020年4月1日時点の残高	-	274	5,848	115,826	1,343	117,170
当期利益(△は損失)			-	△4,179	△93	△4,273
その他の包括利益	53		1,675	1,675	18	1,693
当期包括利益合計	53	-	1,675	△2,504	△75	△2,579
その他の資本性金融商品の所有者に 対する分配			-	△440		△440
自己株式の取得			-	△0		△0
自己株式の処分			-	204		204
自己株式処分差損の振替			-	-		-
新株予約権の行使		△4	△4	0		0
新株予約権の失効		△29	△29	-		-
配当			-	△1,919		△1,919
その他の資本の構成要素からの振替	△53		△53	-		-
所有者との取引額合計	△53	△34	△87	△2,155	-	△2,155
2021年3月31日時点の残高	-	240	7,437	111,167	1,268	112,435

(注)配当の金額には従業員持株会専用信託への配当金額を含めておりません。

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前利益	7,396	1,068
減価償却費及び償却費	11,871	13,217
減損損失	1,961	5,950
有形固定資産及び無形資産除売却損益(△は益)	1,163	31
受取利息及び受取配当金	△111	△124
支払利息	677	543
為替差損益(△は益)	610	△755
割安購入益	△379	△12,275
持分法による投資損益(△は益)	19	△432
関連会社株式売却損益(△は益)	△3,611	-
投資有価証券評価損益(△は益)	△2,389	-
売上債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	1,800	△2,769
棚卸資産の増減額(△は増加)	△5,821	△1,739
仕入債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	6,602	3,783
返金負債の増減額(△は減少)	1,112	△650
その他	△947	△496
小計	19,955	5,351
配当金の受取額	106	81
利息の受取額	58	15
利息の支払額	△671	△535
法人所得税の支払額	△1,229	△423
法人所得税の還付額	229	518
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,450	5,006
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,799	△6,360
無形資産の取得による支出	△11,750	△12,767
持分法で会計処理されている投資の売却による収入	3,200	-
投資の売却及び償還による収入	3,279	1
貸付金の回収による収入	112	255
預託金の預入による支出	-	△3,290
子会社の取得による支出	△6,341	△7,039
その他	70	△131
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,228	△29,334

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	7,758	15,394
長期借入れによる収入	5,674	9,200
長期借入金の返済による支出	△8,571	△9,479
自己株式の売却による収入	225	204
リース負債の返済による支出	△1,679	△2,093
配当金の支払額	△1,915	△1,918
その他の資本性金融商品の所有者に対する分配額	△464	△440
その他	△23	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,002	10,867
現金及び現金同等物に係る換算差額	△373	△341
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	850	△13,801
現金及び現金同等物の期首残高	42,093	42,944
現金及び現金同等物の期末残高	42,944	29,142

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(報告企業)

日医工株式会社(以下、当社)は日本に所在する企業であります。当社及びその子会社(以下、当社グループ)の連結財務諸表は2021年3月31日を期末日とし、当社、子会社及び関連会社に対する持分により構成されております。当社グループの主な事業は医薬品の製造販売であります。

(作成の基礎)

1. IFRSに準拠している旨

当社グループの連結財務諸表は「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和51年大蔵省令第28号。以下、連結財務諸表規則)第1条の2に規定する「指定国際会計基準特定会社」の要件をすべて満たすことから、連結財務諸表規則第93条の規定により、IFRSに準拠して作成しております。

2. 測定的基础

連結財務諸表は、公正価値で測定されている金融商品等及び確定給付債務の現在価値から制度資産の公正価値を控除して算定されている確定給付制度に係る負債または資産を除き、取得原価を基礎として作成しております。

3. 表示通貨

当社グループの連結財務諸表は当社の機能通貨である日本円を表示通貨としており、百万円未満を切り捨てて表示しております。

4. 会計上の判断、見積り及び仮定

連結財務諸表の作成にあたり、経営者は会計方針の適用並びに資産、負債、収益及び費用の報告額に影響を及ぼす判断、見積り及び仮定の設定を行うことが義務付けられております。実際の業績はこれらの見積りとは異なる場合があります。

主な会計上の判断、見積り及び仮定は以下のとおりであります。

会計上の判断

- ・開発から生じた無形資産の認識

見積り及び仮定

- ・インフリキシマブBSの販売計画に用いた重要な仮定
- ・有形固定資産、のれん、無形資産の減損テストにおける割引キャッシュ・フロー予測の計算に用いた重要な仮定
- ・繰延税金資産の回収可能性
- ・数理計算上の仮定

(セグメント情報等)

4. 事業セグメント

(1) 報告セグメント

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は医薬品事業を構成する「日医工グループ」「Sagent グループ」の2つの報告セグメントにしております。「Sagent グループ」は、Sagent Pharmaceuticals, Inc. 及びその連結子会社で構成されています。「日医工グループ」は、「Sagent グループ」を除いた会社にて構成されています。

報告セグメントの売上収益及びセグメント利益は以下のとおりであります。

前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	連結
	日医工グループ	Sagentグループ	合計		
売上収益					
外部収益	155,288	35,163	190,452	-	190,452
セグメント間収益	-	-	-	-	-
合計	155,288	35,163	190,452	-	190,452
セグメント利益 (コア営業利益) (注)	6,980	1,040	8,020	-	8,020

(注) コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因による損益を除いており、売上収益からも非経常的な要因は除外しております。

当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	連結
	日医工グループ	Sagentグループ	合計		
売上収益					
外部収益	152,481	36,289	188,770	-	188,770
セグメント間収益	-	-	-	-	-
合計	152,481	36,289	188,770	-	188,770
セグメント利益 (コア営業利益) (注)	2,995	△2,017	977	-	977

(注) コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因による損益を除いており、売上収益からも非経常的な要因は除外しております。

報告セグメントの合計額と連結財務諸表計上額の差異の調整は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上収益計	190,452	188,770
自主回収返品引当	376	552
連結財務諸表上の売上収益	190,076	188,218

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
セグメント利益計	8,020	977
統合関連費用	140	196
減損損失	1,961	5,950
自主回収費用	1,580	2,158
開発費譲渡損	1,464	—
仕掛品廃棄損	—	1,253
割安購入益	—	△12,275
インフリキシマブ評価損	—	3,585
営業利益	2,873	107
金融収益	111	1,330
金融費用	1,809	801
持分法による投資損益	△19	432
その他の収益	6,426	—
その他の費用	185	—
連結財務諸表上の税引前利益	7,396	1,068

(2) 製品及びサービスに関する情報

製品及びサービスごとの売上収益は以下のとおりであります。

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント		
	日医工 グループ	Sagent グループ	合計
循環器官用薬	33,546	—	33,546
血液及び体液用薬	28,176	—	28,176
抗生物質	9,745	11,445	21,190
神経系用薬	17,158	—	17,158
消化器官用薬	16,770	—	16,770
化学療法剤	2,459	13,221	15,681
アレルギー用薬	15,632	—	15,632
救急救命用薬	—	9,320	9,320
その他	31,798	1,175	32,974
合計	155,288	35,163	190,452

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント		
	日医工 グループ	Sagent グループ	合計
循環器官用薬	28,932	—	28,932
血液及び体液用薬	27,217	—	27,217
神経系用薬	18,397	—	18,397
抗生物質	8,400	8,972	17,372
消化器官用薬	16,063	—	16,063
救急救命用薬	—	15,950	15,950
アレルギー用薬	14,341	—	14,341
化学療法剤	2,429	10,322	12,752
その他	36,698	1,045	37,743
合計	152,481	36,289	188,770

(注) コア営業利益と同様に、売上収益から非経常的な要因は除外しております。

(3) 地域別に関する情報

① 売上収益

売上収益の地域別内訳は以下のとおりであります。

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント		
	日医工 グループ	Sagent グループ	合計
日本	155,012	—	155,012
米国	—	31,256	31,256
その他	275	3,907	4,182
合計	155,288	35,163	190,452

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント		
	日医工 グループ	Sagent グループ	合計
日本	152,284	—	152,284
米国	—	31,647	31,647
その他	196	4,642	4,838
合計	152,481	36,289	188,770

（注）1. 売上収益は、販売仕向先の所在地によっています。

2. コア営業利益と同様に、売上収益から非経常的な要因は除外しております。

② 非流動資産

非流動資産（金融資産、繰延税金資産を除く）の帳簿価額の地域別内訳は、以下のとおりであります。

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
日本	80,379	95,501
米国	71,289	71,915
カナダ	12,498	14,066
その他	6	5
合計	164,174	181,488

(4) 主要な顧客に関する情報

売上収益の10%以上を占める外部顧客に対する売上収益は、以下のとおりであります。

（単位：百万円）

顧客の名称又は氏名	関連するセグメント名	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
(株)メディセオ	日医工グループ	40,182	39,831
アルフレッサ(株)	日医工グループ	27,844	26,186
(株)スズケン	日医工グループ	27,361	22,559

(1株当たり情報)

親会社の所有者に帰属する基本的1株当たり当期利益及び希薄化後1株当たり当期利益の算定基礎は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社の所有者に帰属する当期利益 (△は損失)		
親会社の所有者に帰属する当期利益 (百万円)	5,133	△4,179
親会社の普通株主に帰属しない当期利益 (百万円)	-	-
1株当たり当期利益の算定に使用する 当期利益 (百万円)	5,133	△4,179
普通株式の加重平均株式数 (株)	63,837,135	64,023,932
ストック・オプションによる希薄化効果の影響 (株)	227,134	-
希薄化効果の影響調整後 (株)	64,064,269	64,023,932
1株当たり当期利益 (△は損失)		
基本的1株当たり当期利益 (円)	80.42	△65.28
希薄化後1株当たり当期利益 (円)	80.14	△65.28

当連結会計年度において、ストック・オプションは逆希薄化効果を有するため、希薄化後1株当たり当期損失の計算に含まれておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。